

高椋・高椋西部コミュニティセンター コミセンだより

発行 令和4年6月8日(水) 第13号
編集 高椋コミュニティセンター TEL 68-0843
丸岡町西里丸岡 12-21-1 Fax 68-0840
高椋西部コミュニティセンター
丸岡町舟寄 77-15-2 TEL 66-0047

もくじ

- ◆高椋地区歴史講座
「後世に伝えたい高椋の歴史」
開催のお知らせ
(まち協歴史文化部会)



高椋地区歴史講座

後世に伝えたい高椋の歴史

～たくさんの画像を通して、郷土の良いところを再発見しよう～

高椋地区は4500年の歴史を持つ地区です。このことを皆さんはご存じでしょうか？

今から19年前、九頭竜川パイプライン工事の際、舟寄地区で縄文時代の住居跡の遺跡が発掘されました。その後高椋の各地で遺跡が発掘されています。最近では新幹線工事の際、称念寺周辺で鎌倉・室町時代の遺跡が大量に出ており、さらにインター線の道路工事の際にも八ツ口～長崎そして舟寄までの間に遺跡が出ています。まさに高椋地区は後世に誇れる地区だと思います。

このことを一人でも多くの方に知っていただきたく講座を企画しましたので、高椋地区の皆さん、ぜひこの機会に一緒に学びませんか？



内容の一部をご紹介します

- ★太古の高椋は海に面していた
- ★高椋は穀倉地帯であった。その理由は
- ★集落の神社の由来
- ★「たかぼこ」地名の由来
- ★継体天皇とわが郷土
(振媛:継体天皇の母が近江へ嫁いだ理由)
- ★これまでのまち協の活動から
- ★昭和5年撮影の高椋の映像(軽便鉄道・称念寺)

- ◆日時 7月2日(土) 午後7時～8時30分まで
- ◆場所 高椋西部コミュニティセンター(丸岡町舟寄 77-15-2)
- ◆参加費 無料
- ◆講師 松本盛博氏
- ◆申込み・問合せ 高椋コミュニティセンター(Tel 68-0843)

※新型コロナウイルス感染予防のため、マスクを着用の上、ご出席下さい。なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止となる可能性があります。

たかむくのまちづくり協議会歴史文化部会